

輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
3-05130	2005/7/5	2005/7/19	洗浄赤血球浮遊液(放射線照射)	男	70	肝疾患	敗血症	05/06	-	院内血液培養の結果 (Staphylococcus aureus)	血液タンパク質欠損検査: 欠損なし	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)			2単位	-	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	
3-05157	2005/7/25	2005/8/8	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	血液腫瘍	菌血症	05/07		院内での患者輸血後血培養の結果、緑膿菌を同定。		同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)		敗血症性ショックにより死亡。輸血との関連性ありと担当医の所見(別紙)	10単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
3-05144	2005/7/19	2005/7/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	30	骨折	細菌感染	05/07	-	Bacillus cereus 検出(05/07) 院内血液培養結果	-	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)		5単位	-	4本の原料血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。		
3-05148	2005/7/20	2005/8/3	人赤血球濃厚液	男	60	肺疾患	細菌感染	05/07	-	-	非溶血性副作用関連検査(-)	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)			2単位	-	2本の新鮮凍結血漿を製造。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
3-05149	2005/7/20	2005/8/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	心疾患	細菌感染	05/07	-	グラム陽性球菌(+)	-	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)		医療機関にて輸血用血液の残よりコアグラール陰性ドウ球菌同定	1単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
3-05158	2005/7/26	2005/8/9	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	10	その他腫瘍	細菌感染	05/07		-	非溶血性副作用関連検査(-)	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)			2単位	-	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿いずれも確保済み。	
3-05164	2005/7/29	2005/8/8	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	心疾患	細菌感染	05/07	血液培養(-) (05/05)	院内の患者輸血後血培養結果、Staphylococcus epidermidis、S. capitisを同	非溶血性副作用関連検査(-)、血液タンパク質欠損検査: 欠損なし	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)			15単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
3-05174	2005/8/19	2005/8/30	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	消化器腫瘍	細菌感染	05/08	-	患者輸血後血培養結果、Enterobacter、Klebsiella同定(8/19医療機関)	抗血漿タンパク質抗体検査(-)	同一採血番号の血漿(2本)で無菌試験(適合)			4単位	-	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
3-05183	2005/9/2	2005/9/16	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	血液疾患	細菌感染	05/09	-	血培(-)	非溶血性副作用関連検査(-)、血液タンパク質欠損検査: 欠損なし	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)		院内検査にて輸血ラインよりグラム陰性桿菌検出(05/09)	10単位	-	1本の原料結血漿を製造。確保済み	
3-05193	2005/9/12	2005/9/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	脳循環器疾患、消化器疾患、肺疾患	細菌感染	05/09	-	血培より Klebsiella pneumoniae 検出(喀痰からはなし)	-	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)		敗血症で患者死亡。輸血との関連性ありとの担当医の所見。(別紙)	2単位	-	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿および新鮮凍結血漿は確保済み。	

3-05194	2005/9/14	2005/9/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	呼吸器疾患	細菌感染	05/09	グラム陽性菌(+)(05/08)	院内患者血液培養の結果陰性	非溶血性副作用関連検査(-)血液タンパク質欠損検査:欠損なし	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)			4単位(うち細菌感染疑い2単位)	1本の原料血漿を製造。確保済み
3-05202	2005/9/21	2005/10/5	人赤血球濃厚液	女	70	骨折	細菌感染	05/09	-	-	非溶血性副作用関連検査(-)血液タンパク質欠損検査:欠損なし	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)			2単位	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。
3-05203	2005/10/14	2005/10/24	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	40	血液疾患	細菌感染	05/09	-	-	抗血液蛋白抗体検査(-)血液蛋白欠損検査:欠損なし	PCと同一番号の血漿(1本)及び投与中止のRC-MAP(1本)で無菌試験(適合) PCと同一の採血番号の血漿のセグメントチューブ及び投与中止のRC-MAPの交差試験用セグメントチューブで細菌培養結果:血漿(-), RC-MAP;嫌気性菌(+) Propionibacterium acnes 同定			2単位 10単位	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。

報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	原料血漿・製品NAT検査(再検査・製造時検査の別)	併用血液製剤等	備考
2005/9/26	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	男	<10	川崎病	肝機能障害	2005/03	HBsAg(-) HBsAb(-) HCVAb(-) (05/03)	HCVAb(-) IgM-HA抗体(-) EBV-VCA-IgM(10未満) CMV-IgM(1.7) (05/04) CMVアチケネミア(-) ANA(-) HSV-IgG(+) HSV-IgM(-) (05/05)	HBV-DNA(-) HCV-RNA(-) (05/08)	原料血漿及び製品については、陰性		バッチ/ロット番号L338vx 製造年月日:2004/03/30 有効期限:2006/05/06 ウイルスクリアランスは9以上
2005/9/13	乾燥濃縮人血液凝固第9因子		10	第IX因子欠乏症	HIV、CMV、HSV、EBV、C型肝炎	生後2ヶ月以後(未確定)		HIV、CMV、HSV、EBV、C型肝炎抗体陽性		原料血漿未特定		当時、現在販売されている製剤が使用された可能性が否定できないための報告。 第22回日本小児肝臓研究会での予稿集(1994年当時の患者は13歳時呼吸器感染にて死亡)現製法と同じ製剤、ウイルスクリアランスは9以上
2005/10/13	グロブリン-WF 抗D人免疫グロブリンWf	女	-	-	C型肝炎	2004/06	-			原料血漿及び製品については、陰性		現時点では、2製剤のうちどちらが投与されたのか不明。投与年月日から可能性のあるロットを絞り込み調査した結果、原料血漿のNAT検査は陰性。最終製品NAT陰性。また、同一ロットで感染の報告なし。ウイルスクリアランスは9以上
2005/10/17	人血清アルブミン				B型肝炎					原料血漿及び製品については、陰性		ウイルスクリアランスは9以上

平成 17 年度 感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成 17 年 10 月 26 日 報告分以降、報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤 41 件、血漿分画製剤 2 件である。輸血用血液製剤の内訳は、
- | | |
|-----------------|----|
| (1) B 型肝炎報告事例： | 22 |
| (2) C 型肝炎報告事例： | 9 |
| (3) HIV 感染報告例： | 0 |
| (4) その他の感染症報告例： | 10 |
- 2 B 型肝炎報告事例
- (1) 輸血前後に感染症検査で HBs 抗原（又は HBV-DNA）等が陽転した事例は 18 例（うち、輸血後 NAT で陰性又は輸血前後で陽性は 2 例）。
- (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別 NAT 陽性の事例は 1 例。
- (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 0 例（劇症化例含む。）である。
- 3 C 型肝炎報告事例
- (1) 輸血前後に抗体検査（又は HCV-RNA）等が陽転した事例は 8 例（うち、輸血後 NAT で陰性又は輸血前後で陽性は 0 例）。
- (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別 NAT 陽性事例は 0 例。
- (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 0 例。
- 4 その他感染症報告事例
- (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は 0 例である。輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は 1 例。
- (2) E 型肝炎感染疑い事例は 1 例、ヒトパルボウイルス感染疑い事例は 3 例である。
- 5 血漿分画製剤での報告事例
- 新規 2 例のうち、1 例については、原料血漿パルボウイルス NAT を確認中。乾燥濃縮人血液凝固第 9 因子製剤は、過去に使用されたことが否定できない症例の報告であり、入手できる情報が限られている。

輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

腫瘍番号	日赤番号	FAX受付日	報告受理日	患者名	性別	年齢	原疾患	感染疾患	発症年月	検査項目	検査結果	輸血前検査項目	輸血前検査結果	輸血後検査項目	輸血後検査結果	輸血単位	献血者種別	献血者種別	献血者種別	献血者種別
供血者陽性事例																				
A-05000234	3-05263	2005/12/28	2006/1/11	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	50	消化器腫瘍	B型肝炎	05/06 05/06	HBsAg(-) (05/06)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (05/12)	陽性(輸血後)	保管検体11本について HBV-NAT実施うち1本で NAT(+)	陽性となった当該輸血と同一 採血番号のMAP、FPP各1本の 受血者2名はいずれも原疾患 で死亡していた。	12単位 10単位	4/11	原料血漿6本す べて確保済み。	新鮮凍結血漿、 赤血球MAP各5 本は医療機関へ 供給済み。		
陽転事例																				
A-05000206	3-05239	2005/11/18	2005/12/1	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/09-12 04/09-10 04/09-11	HBsAg(-) (04/09)	HBsAg(+) (05/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	供血者でその後1例HBcAb不 適があったため、日赤の事後 的検査結果 輸血前 HBsAg(-)HBs Ab(-)HBcAb(+) 輸血後 HBsAg(+)/HBsAb(-) /HBcAb(-)	56単位 65単位 325単位	50/66 49人はHB V関連検査 適合であつ たが、1人 はその後の 献血でH Bc抗体不 適合となつ た。(HBV- NAT陰性)	66本の原料血漿 16本の新鮮凍結 血漿を製造。原 料血漿1本は確 保済み。	原料血漿は65本 新鮮凍結血漿は全て 医療機関へ供給 済み。		
A-05000188	3-05224	2005/10/27	2005/11/9	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	05/03	HBsAg(-) (04/07)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-)	陽性(輸血後)	NAT(-)		2単位 2単位	0/3	3本の原料血漿 を製造。1本確 保済み。	原料血漿は2本 使用済み。		
A-05000189	3-05225	2005/10/28	2005/11/9	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿	男	70	消化器腫瘍	B型肝炎	05/03	HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) (05/03)	HBsAg(+) (05/09) HBcAb(+) HBeAg(+) HBV-DNA(-) (05/09) HBsAg(-) (05/10) HBeAg(-) HBeAb(+) (05/10)	陽性(輸血後)	NAT(-)	アルブミン	4単位 16単位 40単位 32単位	12/28	27本の原料血漿 4本の新鮮凍結 血漿、16本の赤 血球MAPを製 造。原料血漿は 10本確保済み。 新鮮凍結血漿2 本は確保済み。 赤血球MAP2本 は減損済み。	原料血漿は17本 使用済み。新鮮 凍結血漿は2本 医療機関へ供給 済み。赤血球 MAPは14本医療 機関へ供給済 み。		
A-05000191	3-05227	2005/10/31	2005/11/28	人赤血球濃厚液	女	<10	小児腫瘍	B型肝炎	03/10	HBsAg(-) (03/10)	HBsAg(+) HBsAb(+) (05/10)	-	NAT(-)		2単位	1/1	1本の原料血漿 を製造。	原料血漿は使用 済み。		
A-05000199	3-05233	2005/11/8	2005/11/22	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	05/07-08	HBsAg(-) (05/06)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/10)	陽性(輸血後)	NAT(-)		40単位 2単位	1/4	4本の原料血漿 1本の新鮮凍結 血漿を製造。原 料血漿は全て確 保済み。新鮮凍 結血漿は確保済 み。	-		
A-05000201	3-05236	2005/11/11	2005/11/25	人赤血球濃厚液	男	50	消化器疾患	B型肝炎	05/06	HBeAg(-) (05/05) HBV-DNA(-) (05/08)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBV-DNA(+) (05/09)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)		4単位	0/2	2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。	-		
A-05000218	3-05245	2005/12/6	2005/12/20	人赤血球濃厚液	女	60	脳循環疾患	B型肝炎	05/07	HBsAg(-) (05/07)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBcAb(-) (05/10)	陽性(輸血後)	NAT(-)		4単位	1/2	2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。			
A-05000220	3-05252	2005/12/12	2005/12/22	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/10-12 04/11- 05/02 04/11	HBsAg(-) (03/10)	HBsAg(+) (05/11)	陽性(輸血後)	NAT(-)		75単位 35単位 2単位	8/9	9本の原料血漿 を製造。1本の 新鮮凍結血漿を 製造。	原料血漿は全て 使用済み。新鮮 凍結血漿は医療 機関へ供給済 み。		

A-05000225	3-05253	2005/12/13	2005/12/27	人赤血球濃厚液 白血球除去人赤血球浮遊液	男	70	腎疾患	B型肝炎	00/04-05/05 00/04	HBsAg(-) (00/03)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) (05/11)	HBV関連検査 予定	保管検体11 本について HBV-NAT実 施予定			18単位 4単位	7/11	8本の原料血漿を製造。12本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は使用の有無を確認中。新鮮凍結血漿3本は確保済み。9本は医療機関へ供給済みだが、うち2本は未使用のため回収済み。	医療機関へ供給済みの新鮮凍結血漿9本中7本は使用済み。
A-05000226	3-05254	2005/12/15	2005/12/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	関節リウマチ	B型肝炎	04/06	HBsAg(-) (04/06)	HBsAg(+) (05/12)	HBV関連検査 予定	保管検体2本 について HBV-NAT実 施予定			4単位	0/2	2本の原料血漿を製造。2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は使用の有無を確認中。新鮮凍結血漿1本は医療機関へ供給済み。1本は凍損	新鮮凍結血漿1本は医療機関へ供給済み。
A-05000224	3-05255	2005/12/15	2005/12/27	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿	女	60	血液腫瘍	B型肝炎	01/07-02/05 01/07-02/05 01/07	HBsAg(-) (01/07)	HBsAg(+) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (05/12)	HBV関連検査 予定	保管検体42 本について HBV-NAT実 施予定	プミネート、ノイアート、アンソロピンP、ヴェノグロブリン-IH		250単位 30単位 8単位	36/42	調査中	調査中
A-05000228	3-05257	2005/12/16	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	消化器腫瘍	B型肝炎	05/07	HBsAg(-) (05/07)	HBsAg(+) HBeAb(-) (05/12)	HBV関連検査 予定	保管検体1本 について HBV-NAT実 施予定			2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿は使用の有無を確認中。	-
A-05000229	3-05258	2005/12/20	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	脳循環疾患	B型肝炎	04/12	HBsAg(-) HBeAb(+) (03/08) HBV-DNA(-) (04/12)	HBsAg(-) HBeAb(+) HBV-DNA(+) (05/08)	HBV関連検査 予定	保管検体3本 について HBV-NAT実 施予定			4単位	0/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
A-05000230	3-05259	2005/12/21	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	80	血液腫瘍	B型肝炎	05/08	HBsAg(-) (05/08)	HBsAg(+) HBeAb(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) HBV-DNA(+)	HBV関連検査 予定	保管検体11 本について HBV-NAT実 施予定			6単位 80単位	5/11	11本の原料血漿を製造。原料血漿は使用の有無を確認中。	-
A-05000233	3-05262	2005/12/28	2006/1/10	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	30	事故	B型肝炎	05/08-07 05/06 05/06	HBsAg(-) (05/06)	HBsAg(+) (05/12)	HBV関連検査 予定	保管検体58 本について HBV-NAT実 施予定			64単位 20単位 40単位	22/58	調査中	調査中

輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																	
A-05000187	3-05223	2005/10/26	2005/11/9	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	04/09-10 04/09-05/07	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (04/09)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (05/07)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	60単位 14単位	7/11	14本の原料血漿 4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は1本確保済み。新鮮凍結血漿は1本確保済み。	原料血漿は13本使用済み。新鮮凍結血漿は3本医療機関へ供給済み。
A-05000222	3-05248	2005/12/8	2005/12/22	人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	05/04-10 05/09 05/05-11	HBsAg(-) (05/02)	HBsAg(+) (05/12)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	35単位 95単位 18単位	7/18	18本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は3本確保済み。	新鮮血漿は1本医療機関へ供給済み。
陽転未確認事例																	
A-05000196	3-05230	2005/11/7	2005/11/16	人赤血球濃厚液 洗浄人赤血球浮遊液	男	70	血液疾患	B型肝炎	03/09-05/08 04/02	HBsAg(-) (03/04)	HBsAg(-) (05/07) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) HBeAg(-) HBeAb(-) (05/09) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) (05/09) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-)	陰性(輸血後)	NAT(-)	60単位 2単位	14/32	29本の原料血漿 28本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は9本確保済み。新鮮凍結血漿は6本確保済み。	原料血漿は20本使用済み。新鮮凍結血漿は22本医療機関へ供給済み。
A-05000203	3-05237	2005/11/11	2005/11/28	人赤血球濃厚液	女	50	肉腫	B型肝炎	05/07	HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(-) (05/05)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAb(-) (05/09)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	NAT(-)	9単位	0/5	7本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	
A-05000221	3-05247	2005/12/8	2005/12/22	人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	血液腫瘍	B型肝炎	04/04-07 04/04-07 04/05-07 04/06	-	HBsAg(-) (04/04) HBsAg(+) (05/11)	陽性(輸血後)	NAT(-)	75単位 60単位 6単位 2単位	13/13	13本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。
A-05000231	3-05260	2005/12/22	2006/1/5	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	05/01-05 05/01-05	-	HBsAg(-) (05/07) HBsAg(+) (05/12)	HBV関連検査予定	保管検体61本についてHBV-NAT実施予定	42単位 265単位	調査中	調査中	調査中

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)

識別番号	日赤番号	FAX受付日	報告文書日	輸血名	性別	年齢	原疾患	感染部位	輸血年月	検査項目	検査結果	輸血前検査項目	輸血前検査結果	輸血後検査項目	輸血後検査結果	使用単位	献血者血液検査	献血者血液検査結果	献血者血液検査結果
陽転事例																			
A-05000190	3-05226	2005/10/31	2005/11/14	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	肺炎患	C型肝炎	05/07	HCVAb(-) HBsAg(+) (04/12)	HCVAb(+) HBsAg(+) (05/10)	陽性(輸血後)	NAT(-)			15単位	1/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
A-05000192	3-05228	2005/10/31	2005/11/14	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	腎疾患	C型肝炎	05/03-08	HCV-Ab(-) (05/02)	HCVAb(+) HCV-RNA(+) (05/10)	陽性(輸血後)	NAT(-)			6単位	2/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み	
A-05000198	3-05232	2005/11/8	2005/11/22	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	50	骨折	C型肝炎	05/04	HCV-Ab(-) (05/04)	HCV-Ab(+) (05/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			8単位 4単位	1/6	6本の原料血漿5本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。新鮮凍結血漿1本は確保済み。	新鮮凍結血漿は4本医療機関へ供給済み。
A-05000204	3-05238	2005/11/15	2005/11/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	04/10	HCV-Ab(-) (03/01、04/09、/10)	HCV-Ab(+) (05/10) HCV-RNA(+) (05/11)	調査なし	NAT(-)			4単位	0/2	2本の原料血漿2本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給
A-05000208	3-05244	2005/11/24	2005/12/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	05/04-09	HCV-Ab(-) (05/04)	HCV-Ab(-) (05/09、/10) HCV-Ab(+) (05/11)	陽性(輸血後)	NAT(-)			34単位	2/17	17本の原料血漿8本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は7本確保済み。	新鮮凍結血漿は1本医療機関へ供給済み。
A-05000223	3-05249	2005/12/8	2005/12/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	消化器腫瘍	C型肝炎	05/06	HCV-Ab(-) (05/05)	HCV-Ab(+) (05/12)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			8単位	2/8	8本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	
A-05000185	3-05220	2005/10/21	2005/11/4	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	80	泌尿器疾患	C型肝炎	05/08	HCVAb(-) (05/07)	HCVAb(+) HCVi7抗原(+) HCV-RNA(+) (05/10)	HCV関連検査予定	保管検体3本についてHCV-NAT関連検査予定			8単位 20単位	0/5	5本の原料血漿を製造。原料血漿は使用の有無を確認中。	調査中
A-05000227	3-05256	2005/12/16	2005/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	05/09	HCV-Ab(-) (05/08) HCVi7Ag(-) (05/09)	HCV-Ab(+) (05/11) HCV-RNA(+) (05/12)	HCV関連検査予定	保管検体3本についてHCV-NAT実施予定			4単位	調査中	調査中	調査中
陽転未確認事例																			
A-05000219	3-05246	2005/12/6	2005/12/20	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	30	血液腫瘍	C型肝炎	05/02-10	HCV-Ab(-) (05/06) HCV-Ab(+) (05/12)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	NAT(-)			140単位	11/14	14本の原料血漿を製造。原料血漿は9本確保済み。	原料血漿5本は使用済み。	

輸血によるその他ウイルス感染報告例(疑い例を含む。)

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受付日	氏名	性別	年齢	病状	ウイルス名	輸血年月	検査項目	検査結果	検査機関	献血者検査項目	献血者検査結果	献血者検査項目	献血者検査結果		
供血者陽性事例																		
3-05186	A-0500015 1	2005/9/7	2005/9/16	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	30	産科疾患	パルボウイルス	05/06	IgM-B19(+) (05/08)	B-19-DNA(-) B19抗体IgM(-) B19抗体IgG(-) (輸血前 05/06) B-19-DNA(+) B19抗体 IgM(+) B19抗体	保管検体1 本:B19- DNA(+) B19抗体Ig M(+) B19抗 体IgG(+) 保管検体4 本:B19- DNA(-)(うち 1本B19抗体 IgG(+))		患者検体とB19-DNA陽性保 管検体でNS1/VP1領域 1069bpの塩基配列を比較し た結果、全ての塩基配列は一 致した。	10単位		5本の原料血 漿、3本の新鮮 凍結血漿を製 造。原料血漿、 新鮮凍結血漿は 全て確保済み。	
3-05117	A- 05000063	2005/6/16	2005/6/29	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液	男	40	血液腫瘍	ヒトパルボウイ ルス	05/05	ヒトパルボウイ ルS19PCR(+) (05/06) B19Ab [IgM] (-) B19Ab [IgG] (+) (05/06)	B19-DNA(+) (輸血後 05/06)	NO.1: B19-DNA(+) B19Ab [IgM] (+) B19Ab [IgG] (+) NO.2: B19-DNA(-) B19Ab [IgM] (-) B19Ab [IgG] (-)		患者検体とB19-DNA陽性保 管検体でNS1/VP1領域 1069bpの塩基配列を比較し た結果、全ての塩基配列は一 致した。	2単位 10単位		2本の原料血漿 を製造。原料血 漿は全て確保済 み。	
3-05143	A- 05000097	2005/7/19	2005/7/29	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液疾患	ヒトパルボウイ ルス	05/05-06 05/06	B-19-DNA(+) IgM(+) IgG(+) (05/07)	B19-DNA(-) IgM(-) IgG(-) (輸血前 05/05) B19- DNA(+) IgM(+) IgG(+) (輸血後 05/07)	保管検体1 本: B-19- DNA(+) IgM(+) IgG(-) (残り16本: B-19-DNA (-))		医療機関報告あり (105101709-001) 患者検体とB19-DNA陽性保 管検体でNS1/VP1領域 1069bpの塩基配列を比較し た結果、全ての塩基配列は一 致した。	18単位 50単位		17本の原料血 漿、2本の新鮮 凍結血漿を製 造。原料血漿、新 鮮凍結血漿はす べて確保済み。	
3-05222	A- 05000186	2005/10/26	2005/11/9	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	心疾患	E型肝炎	05/09	HEV-RNA(-) IgMHEV-Ab(-) IgGHEV- Ab(-) (05/09)	HEV-RNA(+) IgMHEV-Ab(-) IgGHEV- Ab(-) (05/10)	ORF2 412塩 基の二領域に おいて、塩基 配列を比較し た結果、献血 者の塩基配列 には複数箇所 で2種類の塩 基が認められ たが、その一 方あるいは両 方において患 者の塩基配列	保管検体1 本(全部)に ついてHEV- RNA(+)		献血者陽性確認事例。事後 検査依頼により患者追跡調査 実施→その後、HEV-RNAウイ ルス濃度は増加し、10/24に4.3 →11/02に5.2→11/07に 6.3log copies/mlと上昇。HEV 抗体はIgM/IgGともに陰性。 11/14にALT/AST109/70U/L となり同日(輸血後54日目)に 肝炎専門医療機関へ転院。 11/16(56日目)に ALT/AST149/95U/L。腎障 害が認められているとの情 報。(11/26時点の情報)HEV- RNAウイルス濃度は11/14に 7.4log copie	15単位		1本の原料血漿 を製造。原料血 漿は確保済み。

輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)

識別番号	日赤番号	FAX受付日	報告受理日	輸血名	性別	年齢	原疾患	感染名称	発症年月	輸血施設	院内血培	患者血培	検査結果	投与中止の当該製剤	輸血成分	使用単位	献血者写真提供	同一献血者製剤の使用	同一献血者製剤の使用	
A-05000184	3-05219	2005/10/21	2005/11/4	人赤血球濃厚液	男	70	消化器疾患	細菌感染	05/10	-	院内血培にてStreptococcus salivarius(グラム陽性球菌)同定	患者血培(-)	抗α2-マクログロブリン抗体陽性血漿タンパク質欠損検査:欠損なし	投与中止の当該製剤で無菌試験(適合)		2単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み		
A-05000195	3-05229	2005/11/2	2005/11/16	人血小板濃厚液	男	40	血液腫瘍	細菌感染	05/10	-	血培よりB.cereus検出	患者血培(-)	-	同一採血番号の血漿1本で無菌試験(適合)	ウレグロリンH	10単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。		
A-05000197	3-05231	2005/11/8	2005/11/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器疾患	細菌感染	05/10	-	血培で黄色ブドウ球菌を同定	患者血培(-)	調査なし	同一採血番号の血漿3本で無菌試験(適合)		3単位	-	3本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。		
A-05000193	3-05234	2005/11/10	2005/11/14	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	30	消化器疾患	細菌感染	05/10	-	院内の血培でAcinetobacter calcoaceticus, Staphylococ	患者血培(-)	調査なし	同一採血番号の血漿5本で無菌試験(適合)		8単位	-	5本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済		
A-05000202	3-05211	2005/11/15	2005/11/28	新鮮凍結人血漿	男	80	慢性硬膜下血腫	細菌感染	05/09	-	患者血培(-)	患者血培(-)	抗血漿タンパク質抗体検査(-) 血漿タンパク質欠損(なし)	投与中止の当該製剤の無菌試験結果: Staphylococcus spp.が検出された。(菌種は特定できず)	フィブロガミンP	2単位	-	9/30で「発熱、細菌感染の疑い」で第1報を受け担当医の重症度判定が軽微であったため報告対象外と判断していたが11/14に投与中止の当該製剤より細菌(Staphylococcus spp.)が検出されたとの追加情報を入手したため感染症症例として報告する。	1本の原料血漿、1本の赤血球MAPを製造。	1本の原料血漿は使用済み。赤血球MAPは医療機関へ供給済み
A-05000217	3-05250	2005/12/9	2005/12/16	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	細菌感染	05/11	-	患者血培(-)	患者血培(-)	抗血漿タンパク質抗体検査(-) 血漿タンパク質欠損(なし)	同一採血番号の血漿で無菌試験(適合)		2単位	-	1本の原料血漿を製造。		